

科目名	スノーケリング実習 A							年度	2026
英語科目名	Snorkeling training A							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 スポーツインストラクターコース 2年次	必/選	選※	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	平川大輔	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ダイビングインストラクター		
【科目の目的】 スノーケリングインストラクター資格取得を目指します。スノーケリングを正しく指導するために必要な知識・技術を身につけ、生涯に渡り行なえることが出来るようにスノーケリングを普及できる人材を目指します。									
【科目の概要】 スノーケリングインストラクター資格取得のために必要な知識・技術について学びます。									
【到達目標】 日本スノーケリング連盟認定スノーケリングインストラクター取得を目指します。スノーケリングインストラクターを取得することにより、各地域にて行われているスノーケリング講習会において指導者として活躍できる機会を得ること、また幅広い世代において行われているスノーケリングの指導を通してコミュニケーション能力の向上を目標とします。									
【授業の注意点】 講習を全て受講しなければ受験することができません。講習中は指導員の指示に従い、身勝手な行動は絶対に取らないようにして下さい。身勝手な行動等を起こし他人に迷惑をかけるような者は単位取得を認めません。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	スノーケリングを安全に 楽しく行う事ができる		スノーケリングを安全に 行う事ができる		スノーケリングを行う事が できる				
到達目標 B	スノーケリングインスト ラクターとしての基本技 能・知識を会得している		スノーケリングインスト ラクターとしての基本技 能・知識が身についている		スノーケリングインスト ラクターを理解している				
到達目標 C	団体でも積極性を持って 行動することができる		団体でも責任感をもって 行動することができる		団体でも行動する事がで きる				
到達目標 D									
到達目標 E									
【教科書】 必要に応じて適宜資料を配布します									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 プールでの実技が主体となります。口述なども行うため、社会人として必要なスキルを包括的に学びます。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		スノーケリング実習A			年度	2026
英語表記		Snorkeling training A			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	スノーケリングとは何か	1 BSNについて	BSN（バリアフリースポーツネットワークについて理解している	3	
			2 連盟について	日本スノーケリング連盟について理解している		
2	教養課程	マニュアル理解	1 マニュアルについて	マニュアルについて理解している	3	
3	教養課程	規定・基準の理解	1 規定について	規定について理解している	3	
			2 基準について	基準について理解している		
4	実技課程	基礎実技①	1 スノーケリング	スノーケリングについて行うことができる	2	
			2 スキンダイビング	スキンドイビングについて行うことができる		
5	実技課程	基礎実技②	1 スノーケリング	スノーケリングについて行うことができる	2	
			2 スキンダイビング	スキンドイビングについて行うことができる		
6	実技課程	デモンストレーション①	1 スノーケリング	スノーケリングについてデモを行うことができる	2	
			2 スキンダイビング	スキンドイビングについてデモを行うことができる		
7	実技課程	デモンストレーション②	1 スノーケリング	スノーケリングについてデモを行うことができる	2	
			2 スキンダイビング	スキンドイビングについてデモを行うことができる		
8	実技課程	ウォーターマンシップ①	1 200m（クロール）	規定の距離を泳ぐことができる	2	
			2 400m（3点セット装着）	規定の距離を泳ぐことができる		
9	実技課程	ウォーターマンシップ②	1 200m（クロール）	規定の時間内に泳ぐことができる	2	
			2 400m（3点セット装着）	規定の時間内に泳ぐことができる		
10	実技課程	ウォーターマンシップ③	1 25m平行潜水	規定の潜水を行うことができる	2	
			2 40m平行潜水	規定の潜水を行うことができる		
11	実技課程	ウォーターマンシップ④	1 25m平行潜水	規定の潜水を行うことができる	2	
			2 40m平行潜水	規定の潜水を行うことができる		
12	教養課程	口述訓練	1 口述	指定された内容を多人数の前で伝える事が出来る	2	
13	教養課程	クラスコントロール	1 スノーケリング	スノーケリングのクラスコントロールを行うことができる	3	
			2 スキンダイビング	スキンドイビングのクラスコントロールを行うことができる		
14	教養課程	レスキュー	1 レスキュー	レスキューを行うことができる	3	
15	教養課程	CPR及びAED	1 CPR及びAED	CPR及びAEDを理解している	2	
			2 CPR	CPRを行うことができる		
			3 AED	AEDを行うことができる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等